

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社 大泉日伯センター(日伯学園)

1 事業の趣旨・目的

この取組は、教育するもの、されるもの双方に大きな意義をもつ。特に、ブラジル人学校全日制で学んだ青年は、現在もポルトガル語を第一言語としながら、よりレベルの高い日本語習得を目指す「学習者」でもある。彼らが「学習者」としての立場を超え、この教室で「講師」となって初級の日本語を教えることにより、自身の日本語の基礎をより確実なものにすることができる。また、この教室の受講対象者である小学生年齢相当の日本語初級学習者にもより身近な存在であり、彼らを具体的な「モデル」として学習に取り組むことができる。日本語学習を早期に始めることは、日本への定住傾向や国境間を複数回移動する在日ブラジル人の生活パターンと照らし合わせると、ぜひとも取り組むべき課題である。特に、漢字検定への挑戦を教室の課題としたい。漢字の習得は、日本の文化を理解する一助となるからである。ちなみに、当学園は漢字検定試験の準会場の資格を取得しているため、受験者の交通費などの負担はほとんどない。そして、今後も続くであろう、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大することも事業の狙いの一つである。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
9月21日	NPO 大泉国際教育技術普及センター 会議室	野山 広 拝野 寿美子 江副 隆秀 戸澤 江梨香 中西 智美 阿部 裕次郎 堀江 幸男	・教材の設定 ・担当リーダーの設定 ・担当グループ分け ・教材の印刷 ・漢字検定受検 ・クラスの分け方	・冬季は漢字検定に向けて実施する。 ・講師補助は夏季同様、グループに分け行う。 ・リーダーは夏季と同じとする。 ・教材印刷については、1週間分づつ印刷する。 ・漢字検定は20人以上受験者がいないと準会場で

		戸澤 順		受験できないため、受験を促す。 ・クラスを分けるにあたり、簡単なテストを行う。
12月2日	NPO 大泉国際教育技術普及センター 会議室	野山 広 拝野 寿美子 江副 隆秀 戸澤 江梨香 中西 智美 阿部 裕次郎 堀江 幸男 戸澤 順	・クラス分けの見直し ・問題点 ・質疑応答(漢字検定の内容)	・補助者の方も予習をしないといけないため、補助者も負担を感じている。(解決策としては、自分の復習にもなると、考えてもらうように意識を変える) ・漢字検定に合格するには試験内容を熟知しなければならないが、補助者の大半は級を所得しているので大きな問題はない。 ・

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ② 日本語教室の名称 冬季子供向け漢字検定・日本語能力試験講座「ブラジル人先輩から学ぶ「初めての日本語」

- ① 開催場所 日伯学園 ネスポ校舎

- ② 学習目標

特に、ブラジル人学校全日制で学んだ青年は、現在もポルトガル語を第一言語としながら、よりレベルの高い日本語習得を目指す「学習者」でもある。彼らが「学習者」としての立場を超え、この教室で「講師」となって初級の日本語を教えることにより、自身の日本語の基礎をより確実なものにすることができる。また、この教室の受講対象者である小学生年齢相当の日本語初級学習者にもより身近な存在であり、彼らを具体的な「モデル」として学習に取り組むことができる。日本語学習を早期に始めることは、日本への定住傾向や国境間を複数回移動する在日ブラジル人の生活パターンと照らし合わせると、ぜひとも取り組むべき課題である。特に、漢字検定への挑戦を教室の課題としたい。漢字の習得は、日本の文化を理解する一助となるからである。ちなみに、当学園は漢字検定試験の準会場の資格を取得しているため、受験者の交通費などの負担はほとんどない。そして、今後も続くであろう、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大することも事業の狙いの一つである。

- ③ 使用した教材・リソース

独自の学習プリントおよび漢字検定問題集

- ④ 受講者の募集方法

地域のブラジル人商店にポスターを掲示および配布でよびかけるほか、知人、友人など人的ネットワークを駆使する。

- ⑤ 受講者の総数 45 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

- ⑥ 開催時間数(回数) 50 時間 (全 50 回)

- ⑦ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	9月29日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語(38人)	教授者4人 補助者4人	・一・二・三・四・五までの漢字 ・語彙
2	10月1日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語(38人)	教授者4人 補助者4人	・六・七・八・九・十までの漢字 ・語彙
3	10月4日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語(38人)	教授者4人 補助者4人	・月・火の漢字 ・読み方 ・語彙

4	10月6日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・水・木の漢字 ・読み方 ・語彙
5	10月8日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・金・土の漢字 ・読み方 ・語彙
6	10月13日	1時間	37人	ブラジル国・ポルトガル語（37人）	教授者4人 補助者4人	・日・口の漢字 ・読み方 ・語彙
7	10月15日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・目・手の漢字 ・読み方 ・語彙
8	10月18日	1時間	36人	ブラジル国・ポルトガル語（36人）	教授者4人 補助者4人	・足・上の漢字 ・読み方 ・語彙
9	10月20日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・下・中の漢字 ・読み方 ・語彙
10	10月22日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・新聞ゲーム
11	10月25日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・漢字テスト（1）
12	10月27日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・漢字テスト（2）
13	10月29日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・漢字テスト（3）
14	11月1日	1時間	37人	ブラジル国・ポルトガル語（37人）	教授者4人 補助者4人	・右・左の漢字 ・読み方 ・語彙
15	11月5日	1時間」	36人	ブラジル国・ポルトガル語（36人）	教授者4人 補助者4人	・林・森の漢字 ・読み方 ・語彙
16	11月8日	1時間	36人	ブラジル国・ポルトガル語（36人）	教授者4人 補助者4人	・山・川の漢字 ・読み方 ・語彙
17	11月10日	1時間	38人	ブラジル国・ポルトガル語（38人）	教授者4人 補助者4人	・町・村の漢字 ・読み方 ・語彙
18	11月12日	1時間	37人	ブラジル国・ポルトガル語（37人）	教授者4人 補助者4人	・漢字テスト（4）
19	11月15日	1時間	35人	ブラジル国・ポルトガル語（35人）	教授者4人 補助者4人	・漢字テスト（5）
20	11月17日	1時間	37人	ブラジル国・ポルトガル語（37人）	教教授者4人 補助者4人	・人・入の漢字

			人	ル語（３７人）	人 補助者４人	・読み方 ・語彙
21	１１月１９日	１時間	３５ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３５人）	授者４人 補助者４人	・男・女の漢字 ・読み方 ・語彙
22	１１月２２日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・竹・王の漢字 ・読み方 ・語彙
23	１１月２４日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・犬・玉の漢字 ・読み方 ・語彙
24	１１月２６日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・大・小の漢字 ・読み方 ・語彙
25	１１月２９日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・漢字テスト （６）
26	１２月１日	１時間	３６ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３６人）	教授者４人 補助者４人	・漢字テスト （７）
27	１２月３日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	者４人授 補助者４人	・漢字かるた
28	１２月６日	１時間	３５ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３５人）	教授者４人 補助者４人	・学・校の漢字 ・読み方 ・語彙
29	１２月８日	１時間	３６ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３６人）	教授者４人 補助者４人	・生・夕の漢字 ・読み方 ・語彙
30	１２月１０日	１時間	３６ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３６人）	教授者４人 補助者４人	・雨・天の漢字 ・読み方 ・語彙
31	１２月１３日	１時間	３５ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３５人）	教授者４人 補助者４人	・音・糸の漢字 ・読み方 ・語彙
32	１２月１５日	１時間	３８ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３８人）	教授者４人 補助者４人	・千・円の漢字 ・読み方 ・語彙
33	１２月１７日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	者４人授 補助者４人	・花・草の漢字 ・読み方 ・語彙
34	１２月２０日	１時間	３６ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３６人）	教授者４人 補助者４人	・貝・見の漢字 ・読み方 ・語彙
35	１２月２２日	１時間	３７ 人	ブラジル国・ポルトガ ル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・漢字テスト （８）
36	１２月２４日	１時間	３５	ブラジル国・ポルトガ	教授者４人	・漢字テスト

			人	ル語（３５人）	補助者４人	（９）
37	１月５日	１時間	３５人	ブラジル国・ポルトガル語（３５人）	教授者４人 補助者４人	・新聞ゲーム
38	１月７日	１時間	３６人	ブラジル国・ポルトガル語（３６人）	教授者４人 補助者４人	・漢字かるた
39	１月１２日	１時間	３７人	ブラジル国・ポルトガル語（３７人）	教授者４人 補助者４人	・空・気の漢字 ・読み方 ・語彙
40	１月１４日	１時間	３５人	ブラジル国・ポルトガル語（３５人）	教授者４人 補助者４人	・子・年の漢字 ・読み方 ・語彙
41	１月１７日	１時間	３５人	ブラジル国・ポルトガル語（３５人）	教授者４人 補助者３人	・赤・青の漢字 ・読み方 ・語彙
42	１月１９日	１時間	３６人	ブラジル国・ポルトガル語（３６人）	教授者４人 補助者３人	・白・百の漢字 ・読み方 ・語彙
43	１月２１日	１時間	３６人	ブラジル国・ポルトガル語（３６人）	教授者４人 補助者３人	・田・石の漢字 ・読み方 ・語彙
44	１月２４日	１時間	３５人	ブラジル国・ポルトガル語（３５人）	教授者４人 補助者３人	・字・休の漢字 ・読み方 ・語彙
45	１月２６日	１時間	３７人	ブラジル国・ポルトガル語（３７人）	教授者４人 補助者３人	・虫・耳の漢字 ・読み方 ・語彙
46	１月２８日	１時間	３６人	ブラジル国・ポルトガル語（３６人）	教授者４人 補助者３人	・漢字テスト （１０）
47	２月２日	１時間	３７人	ブラジル国・ポルトガル語（３７人）	教授者４人 補助者３人	・漢字テスト （１１）
48	２月４日	１時間	３８人	ブラジル国・ポルトガル語（３８人）	教授者４人 補助者３人	・車・出の漢字 ・読み方 ・語彙
49	２月７日	１時間	３８人	ブラジル国・ポルトガル語（３８人）	教授者４人 補助者３人	・正・文の漢字 ・読み方 ・語彙
50	２月９日	１時間	３６人	ブラジル国・ポルトガル語（３６人）	教授者４人 補助者３人	・本・名の漢字 ・読み方 ・語彙

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
安里 リカルド	ポルトガル語(ブラジル国)	16年	50回	授業補助 リーダー
永井 フランシーネ	ポルトガル語(ブラジル国)	12年	40回	授業補助 リーダー
仲宗根 パトリシア	ポルトガル語(ブラジル国)	15年	30回	授業補助
岩本 カミラ	ポルトガル語(ブラジル国)	16年	20回	授業補助
島袋 アルベルト	ポルトガル語(ブラジル国)	10年	20回	授業補助
上田 ラファエル	ポルトガル語(ブラジル国)	13年	20回	授業補助
齋藤 ビアンカ	ポルトガル語(ブラジル国)	15年	10回	授業補助
福田 ジャケリーネ	ポルトガル語(ブ	13年	10回	授業補助

	ラジル国)			
--	-------	--	--	--

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
野山 広	国立国語研究所	日本語教育基盤情報センター整備普及グループ長	2回	アドバイザー
拝野 寿美子	神田外語大学非常勤講師	ポルトガル語専攻	4回	アドバイザー

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

この講座は夏季同講座との連続性を持っているものである。本講座の学習目標であった、子どもたちの漢字検定受験に対する準備は、おおむね目標通り達成することができた。漢字検定には32人が挑戦し、合格者も2人と多く、この教室の成果が目に見える形で表れることとなった。学習者の授業参加もほぼ全員が9割を超す出席率での参加となっている。

また、副次的目標であった、「講師」の成長も著しい。講師を担当した者の中には、日本語能力試験1級に挑戦し、合格した者も含まれている。2009年から始まった「先輩から学ぶ日本語教室」という体制が確実に定着しており、受講者および講師の日本語習得に好影響を与えていることが確実となっている。来年度以降も、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大するために、当教室の受託を継続していきたい。

② 学習者の習得状況

漢字検定31人受験し、合格者24人(10級11人、9級8人、8級6人7級4人...)と成果が表れた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

当日本語教室は確実に定着しており、広く認知されている。受講者にとって講師が身近な「成長モデル」であることや、継続的な設置により、数年前の「受講者」が今回の「講師」となっている事例も散見されるようになっている。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

この教室に関わっている地域の関係者も既に数年以上支援を継続している。ブラジル人の子どもたちに特徴的な日本語習得のプロセスなども含めて、年数を経るごとに教授ノウハウが地域に蓄積されてきている。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

初習者向けの講座であることから、この講座を修了した受講者に対する継続的な学習機会を保障する必要性がある。

また、「身近な先輩」が講師であることにより、教室における緊張感が時に緩むことがある。

講師には受講者がどのような学習をしたかを日誌に記入させ、具体的な学習目標を講師同士で共有するように工夫している。

b. 今後の課題

上記の「現状」を踏まえ、修了者に向けて次のステップを企画する必要がある。日本語教室という具体的な場を提供することなしに、子どもたちの自主的な学習に期待するのは現実的ではない。

何でも質問できる雰囲気を持続しつつも、教室における一定の緊張感の持続させることが課題である。

c. 今後の活動予定, 展望

上記の「課題」を踏まえ、来年度以降も当日本語教室の受託申請をしている。受託できた際には、今回の受講者への積極的な参加を呼び掛け、1ステップ上の学習ができるよう、準備していきたい。講師についても、人に教えるためには自らが勉強し続ける必要があることを十分認識しているので、大人の支援者からの声かけにより、常に講師の学習状況を把握するなどしていきたい。ゆるやかで、重層的なチームティーチングを目指している。

③その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。